

第2次甲賀市観光振興計画 第3期基本計画 計画の体系 (骨子案)

基本方針	基本戦略	基本施策	第2期 基本事業 (R3~R6)	第3期 方向性	第3期 基本事業 (案) (R7~R10)	基本事業の変更の理由や方向性(概要)の整理
忍びの里の秘めたる宝 探す甲賀のまちづくり ◆ 歴史と文化 伝え育み 歩む甲賀のおもてなし ◆ 光る宝に 出会える旅に 増やす甲賀の愛好家	I 魅力向上戦略	1. 観光地の魅力向上	①忍者の歴史・実態の調査と発信		①忍者の歴史・実態の調査と発信	
			②“忍者の里”の雰囲気醸成		②“忍者の里”の雰囲気醸成	
			③観光インフォメーションセンターの機能強化		③観光インフォメーションセンターの機能強化	大阪関西万博を契機としたインバウンド対応にかかる観光ゲートウェイとしての機能を強化する。
			④観光拠点施設の整備及び観光資源のネットワーク化		④観光拠点施設の整備及び観光資源のネットワーク化	
			⑤道の駅の再整備		⑤道の駅の整備及び機能強化	令和7年度に再整備予定の道の駅「あいの土山」において、地場産業や農業従事者、福祉事業者が連携した地域活性化の促進を図るとともに、地域振興の拠点としての機能を強化する。
		2. 市民と連携した資源開発	①市民協働によるおもてなし体制づくりと観光資源開発		①市民協働によるおもてなし体制づくりと観光資源開発	
			②土山宿と水口宿の連携		②土山宿と水口宿の連携	
			③市民主体の観光まちづくりの促進と地域の誇りの醸成		③市民主体の観光まちづくりの促進と地域の誇りの醸成	
			④日本遺産やスカーレットレガシーを活用したPRと観光促進		④日本遺産やロケーションを活用したPRと観光促進	日本遺産重点支援地域に選定された「伊賀・甲賀」の更なる活用と、「甲賀ロケーション推進協議会」として甲賀市のロケーション全般を活用したPRを実施していく。
	3. 効果的なPRの推進	①「甲賀ブランド」の再構築及び戦略的活用		①「甲賀ブランド」の再構築及び戦略的活用		
		②シティセールスの推進		②シティセールスの推進		
		③ICTの新たな技術による地元情報の発信		③ICTの新たな技術による地元情報の発信		
④日本遺産やスカーレットレガシーを活用したPRと観光促進			④日本遺産やロケーションを活用したPRと観光促進	日本遺産重点支援地域に選定された「伊賀・甲賀」の更なる活用と、「甲賀ロケーション推進協議会」として甲賀市のロケーション全般を活用したPRを実施していく。		
II 誘客促進戦略	1. 観光ビジネスとの連携	①公共交通と連携した観光振興		①公共交通と連携した観光振興		
		②信楽焼など地場産業をはじめとする他産業との連携促進		②信楽焼など地場産業をはじめとする他産業との連携促進		
		③営業活動による販路の開拓と誘客促進		③営業活動による販路の開拓と誘客促進		
		④ゴルフ事業と連携した誘客促進		④ゴルフ事業と連携した誘客促進	ゴルフ利用者の誘客を図るとともに、ゴルフ場から市内へと広がる周遊ルートの造成やハード整備をより一層実施していく。	
	2. 誘客事業・イベントの開催	①信楽まちなかを核とした観光誘客の強化		①信楽まちなかを核とした観光誘客の強化		
		②甲賀流リアル忍館を活用した誘客促進		②甲賀流リアル忍館を活用した誘客促進	周遊の拠点として、ゴルフ場・ロケーション活用を強化するとともに、インバウンドの周遊起点としてルート造成や整備を行っていく。	
		③東海道宿場への誘客促進		③東海道宿場への誘客促進		
		④観光産業をめざした多様なツーリズムの推進		④観光産業をめざした多様なツーリズムの推進		
		⑤体験プログラム及び体験型ツアー造成		⑤体験プログラム及び体験型ツアー造成		
		⑥スカーレットを契機としたロケツーリズムの構築		⑥スカーレットを契機としたロケツーリズムの構築	「甲賀ロケーション推進協議会」として甲賀市のロケーション全般を活用したPRを実施していく。	
	3. 戦略的マーケティング	①マーケティング・リサーチの実施		①マーケティング・リサーチの実施		
		②ニーズに基づいた観光商品の開発促進		②ニーズに基づいた観光商品の開発促進		
4. 新たな観光の形に対応する誘客促進	①マイクロツーリズムの推進		①マイクロツーリズムの推進			
	②周遊型観光メニューの造成		②周遊型観光メニューの造成			
	③ICTを活用したおもてなし観光の充実		③ICTを活用したおもてなし観光の充実			
III 地域活性化戦略	1. 市民意識の向上	①市内観光資源に触れる機会の創出		①市内観光資源に触れる機会の創出		
		②ツーリズム事業への市民の利用促進		②ツーリズム事業への市民の利用促進		
	2. 市民・事業者との協働	①観光協会の機能強化		①観光協会の機能強化		
		②観光ガイドの育成と組織化		②観光ガイドの育成と組織化	観光の産業化に向けて、ガイドの人材育成及び組織化をすすめるとともに、万博を契機とした外国語ガイドの体制整備について、「忍びの里伊賀甲賀忍者協議会」での取り組みを踏まえながら検討していく。	
		③空き家・空き店舗等の活用		③空き家・空き店舗等の活用		
		④地域活性化のための多様な団体との連携促進		④地域活性化のための多様な団体との連携促進		
	3. 広域連携	①忍者をキーワードとする自治体間連携の強化		①忍者をキーワードとする自治体間連携の強化	日本遺産重点支援地域に選定された「伊賀・甲賀」の更なる活用のため、伊賀市との連携強化が求められる。	
		②日本遺産に関する自治体間連携の強化		②日本遺産に関する自治体間連携の強化		
		③広域な地域ツーリズムの推進		③広域な地域ツーリズムの推進	大阪関西万博を契機とする関西圏からの誘客を強化していく。	
	4. (仮称)甲賀市版観光DMOの設立	①観光振興のマネジメントに向けた検討について		①観光振興のマネジメントに向けた検討について		
		②地域資源を活かした集客交流ビジネスの促進		②地域資源を活かした集客交流ビジネスの促進	観光の産業化に向けて、地域資源を活かした集客交流ビジネスを促進させる取り組みを強化していく。	

↑第3期の方向性について、継続・変更・新規を検討